

グループミーティングを利用した地域づくり(北海道真狩村)

- 地域住民、サービス事業者、行政関係者等が、地域の現状やめざす姿についてのグループミーティング「地域づくりミーティング」を平成23年度から実施。
- テーマを5つに分類した街づくりシートを活用し、テーマ毎にミーティングを実施(まとめを含め全6回)。
- ミーティングの結果、①すぐに実現可能な施策、②2～3年かけて検討を要する施策、③長期的な検討を要する施策に分類。

ミーティングの内容

第1回 高齢者の元気で楽しい生活(介護予防・居場所)について

第2回 住まいの確保について

第3回 生活支援・在宅サービスの確保について

第4回 相談体制の確保について

第5回 高齢者の実態把握について

第6回 まとめ

それぞれの
テーマで課
題とめざす
姿を確認

めざす姿の実現

めざす姿を目に見えるものにする。

平成23年度【ひと休みベンチ】 平成24年度【村内巡回バス】

ミーティングの様子



成果の「ひと休みベンチ」



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	真狩村
②人口（※１）	２，１３４（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ３２．５％（ ） ７５歳以上 １８．７％
④取組の概要	住民参加型地域づくりの手法として北海道が作成した「安心して暮らせる地域づくりガイドブック」に掲載されている「地域づくりシート」を活用して、本村の少ない社会資源の補完及び高齢者等支援ネットワーク形成のため、「街づくりミーティング～高齢者編～」を、地域包括ケアシステムの五つの視点（介護・医療・予防・住まい・生活支援）それぞれについて住民、サービス事業者、行政等が自由に意見交換できる形式で開催した。
⑤取組の特徴	住民・サービス事業者・行政が同じ目線で地域について語り合う事で、協働に向けた意識付けが可能となる。
⑥開始年度	平成２３年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成２３年度、平成２４年度共に６回開催した。 また、意見として多かった事案について、実施可能なものについては施策に反映させた。
⑧主な利用者と人数	平成２３年度 ２０名 平成２４年度 ２２名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	◎真狩村地域包括支援センター、真狩村（実施主体） ○真狩村社会福祉協議会、真狩村民生員協議会（協力団体）
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	ミーティングに参加。その後の施策に反映。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	道）初年度はミーティングに参加しその手法を実施主体に指導。及びミーティング後の検討事業に対する補助。（ひと休みベンチ設置事業等） 平成２３年度地域支え合い体制づくり事業費補助金（９３４，０００円）
⑫取組の課題	参加者の中では村の状況等が共有され、協働に向けた意識付けとなった。 今後は、いかにこの裾野を広げられるかが課題。
⑬今後の取組予定	離農者が増加するなど、農家地区での高齢者世帯が増加しているため、ニーズを把握し、取り組みをすすめる予定。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	真狩村 住民課介護係 ０１３６－４５－２１２１

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。